

日本歯科大学「浜浦祭」公開講座

食育について学ぶ！

削らずに治せるむし歯があるのをご存知ですか？

◆日時 平成29年6月11日(日) 午前10時より12時まで

◆会場 日本歯科大学新潟生命歯学部1号館1階「アイヴィホール」
新潟市中央区浜浦町1-8 (浜浦町一丁目バス停下車徒歩1分)

◆演題・講師

① 歯科から始める食育

日本歯科大学は、全国の歯科大学に先駆けて「食育・健康科学講座」を開設しました。大学の創立者、中原市五郎の著書「日本食養道」は現代の食育の原点になっていることはご存知でしょうか。「歯科医療と食育」が、これからの食育に重要な役割を果たすとともに、実質的な健康増進に役立つと考え、その広報活動を展開しています。現在、保育園から大学、一般までの幅広い層に対して、新潟と関西を中心に「噛むから始まる食育」セミナーや講演会、イベントに参加しております。

噛むことは、唾液の分泌を促します。唾液によって食べ物はスムーズに飲み込むことができますし、唾液には、殺菌作用もあります。そして噛むことは、子供たちの脳の発育に大きく関与し、高齢者の痴呆や誤嚥防止にも大きな役割を果たしているのです。普段何気なく行っている、噛む行為や唾液のことを共に考えていきたいです。

日本歯科大学新潟生命歯学部 食育・健康科学講座 客員教授

中野智子

② 削らずに治せるむし歯ってあるの？

皆さんは、むし歯ができてしまうと、削って詰める、銀歯を入れて治すものだと思いませんか。たしかにそういう処置が必要なケースはたくさんあります。しかし、歴史の長い「むし歯研究」は膨大な研究成果をあげ、近年では、これまでの「むし歯を早い時期に見つけ、削って詰める」から、「むし歯を早い時期に見つけ、可能な限り削らずに管理する」というように、診療室でのアプローチが変わってきています。むし歯の発見が早くて歯の表面にとどまっていれば、しっかりした歯磨きやフッ素の応用で削らずに管理していくことが可能なのです。むし歯が進んでしまった場合は、削って詰めることとなりますが、むし歯の部分だけ上手に削って、周りの健全な部分はできるだけ残すように治すのが現代のむし歯治療です。今回は、削らずに治せるむし歯や管理できるむし歯について、そしてむし歯菌から歯を守る方法についてお話しさせていただきます。

日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座 教授

日本歯科保存学会理事 歯科保存治療指導医・専門医

日本レーザー歯学会副理事長 指導医・専門医

日本歯科審美学会理事 認定医

歯学博士 新海航一

◆申込み 当日、会場で受け付けます。(参加費無料)

◆お問い合わせ 日本歯科大学新潟生命歯学部 庶務部 ☎025-211-8144 (直通)

◆備考 *この公開講座は、「いきいき県民カレッジ」の講座となっています。
*公開講座終了後、希望者には国内唯一の公認医学博物館である「医の博物館」をご案内いたします。
*駐車場完備 (無料)

主催／日本歯科大学新潟生命歯学部公開講座委員会
共催／日本歯科大学新潟生命歯学部学生委員会